

第7回

相談マルシェ

主催:姫路市・認定NPO法人コムサロン21

参加
無料

相談マルシェでは、つながりをテーマに、「支え手」「受け手」という関係を超えて地域でのひきこもりについて考えます。午前の部では相談支援者を対象とした事例検討会を、午後の部ではひきこもり当事者やご家族も聴講いただける講演やトークセッションを通して、ひきこもりについて理解を深めます。

午前の部

10:00
～11:45

1部

事例検討会

講師 船越明子先生 神戸市看護大学 看護学部教授



午後の部

13:00
～13:20

2部

姫路市福祉つながる窓口
居場所「ぷちたぷち」 取り組み紹介13:20
～14:45

3部

孤独孤立
対策講演『ひきこもるころを理解する
～ひきこもり経験者として伝えたいこと～』

講師 林恭子氏 一般社団法人ひきこもりUX会議 代表理事

15:00
～15:55

4部

トーク
セッション『ひきこもるころについて、考える』

登壇者 船越明子先生、林恭子氏

2027年1月8日(金) 10:00～16:00

午前の部 10:00 ～ 11:45

対象 相談支援者、教育関係者

定員40名

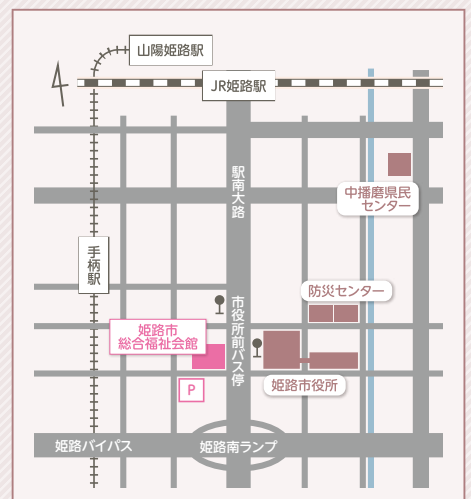
午後の部 13:00 ～ 16:00
(開場 12:30)対象 当事者・経験者、家族、支援者
その他関心のある方などでも
(播磨地域に在住または在勤の方)定員150名
(先着順)会場 姫路市総合福祉会館 5階 第1・第2会議室
姫路市安田3丁目1番地 「市役所前」バス下車/JR姫路駅から徒歩20分

■ 申込フォーム 当日参加も可能ですが、定員に達した場合は入場をお断りすることがあります。
右のQRコードからGoogleフォームが開きます。
<https://forms.gle/4km3v5kTsmAR93LH7>



申し込み締切

12月20日(日)





船越 明子 先生

神戸市看護大学 看護学部 教授

2010年、東京大学大学院医学系研究科博士後期課程を修了。三重県立看護大学、兵庫県立大学を経て、2019年より現職に就かれています。

児童・思春期を対象とした精神科病棟および精神障害者を対象とした訪問看護の臨床経験から、精神的な困難を抱える若者とその家族への支援をテーマに研究活動を行っておられます。

現在は、社会的孤立状態を経験した当事者の目線で助けになる支援とは何かについての研究に力を入れておられます。

また、ひきこもり青年をもつ親の支援については、ライフワークとして取り組み、家族会、ひきこもり地域支援センター、保健センター等で講演や助言活動を行っておられます。

著書に『こころの扉が開く ひきこもり状態にある本人と家族への訪問支援』（医学書院）、『ひきこもり 親の歩みと子どもの変化』（新曜社）などもございます。



林 恭子 氏

一般社団法人ひきこもりUX会議 代表理事

高校2年で不登校、その後30代半ばまで断続的にひきこもり状態をご経験されました。

信頼できる精神科医や同じような経験をした仲間達と出会い、少しずつ自分を取り戻されました。

2012年から、「自分たちのことは自分たちで伝えよう」と“当事者発信”を開始され、イベント開催や講演、研修会の講師などの当事者活動をされています。

一般社団法人polyphony理事／東京都ひきこもりに係る支援協議会委員／東久留米市男女平等推進市民会議議員／厚生労働省「ひきこもり支援にかかる支援ハンドブックの策定に向けた調査研究事業」「ひきこもり地域支援センター職員等への人材養成研修事業」委員／内閣府「就職氷河期世代支援の推進に向けた全国プラットフォーム」議員等。

著書に『ひきこもりの真実——就労より自立より大切なこと』（ちくま新書）、『「ひきこもり」の30年を振り返る』（岩波ブックレット）などもございます。

お申込み、お問合せ

姫路市ひきこもり支援推進事業(ぶちたぶち)

運営 認定特定非営利活動法人コムサロン21
TEL 079-240-6299
mail hikikomori@com21.or.jp
所在地 〒670-0923 姫路市呉服町48 大手前通りハトヤ第一ビル5・6階
開所日時 月曜～土曜 / 10:00～17:00 (休み 日、祝、第2・4・5土曜日)